

「自分らしさ」と「相手らしさ」

高三

「自分らしさ」とは一体どのようなものなのでしょう。私はこの作文を書くことを機に、人間の一人一人の個性の大切さについて改めて考え直してみることにしました。

私は人間関係において消極的になってしまふことがよくあります。一人になることを恐れて、誰かと関わる際には、とにかく嫌われないようにという考えが真っ先に思い浮かんでしまいます。そのため、本当はそうは思っていないまでも相手の意見に合わせたり、愛想笑いをしたりしていました。そのおかげで、私は人と言い争ったり、孤立したりすることはありませんでした。しかし、これは果たして正しいことと言えるのでしょうか。一人でいたくないからという理由で相手に合わせているだけの関係は、友達と呼べるのでしょうか。それが、間違っていることだと分かったのは、友達のおかげでした。私の周りには、自分の考えをしっかりと持っている友達がいます。その友達

は私と意見が違っているときには違うと、はっきりと言ってくれます。それによって私は自分の誤りや相手の意見の良いところに気が付くことができます。相手との仲が良くなれば良くなるほど、仲を壊したくない一心で、自分の思っていることを言えなくなる時もあります。しかし、それを恐れて自分を隠しているばかりでは、本当の信頼関係は築けません。友達とはお互いを理解し、心を許し合ったうえで初めて友達と呼べるものだと思います。そのためにはまず自分自身の意見を持つこと、「自分らしさ」を持つことが何よりも大切なのだと思いました。

「自分らしさ」は、人々の間から差別をなくすうえでも重要なものだと思います。今日、世界中には、さまざまな人権問題が存在しています。しかし、私は人を肌の色や住む場所で判断することは、決してあつてはならないことだと思います。そもそも、人にはそれぞれ違いがあることは当たり前のことです。誰かとまったく同じ人間などいません。人と違うことは恥じることではなく、むしろ誇るべきことだと思います。

また、友達と信頼関係を築いたり、世界から差

別を無くしたりするためには「自分らしさ」を持つこと以外にも必要なことがあります。それは「相手らしさ」を知ったうえで分かり合うことだと思います。自分の考えを持つことはとても重要なことです。しかし、その考えを相手にも押しつけようとすることは違うと思います。例えば宗教などの違いがきっかけで争いが生まれてしまうことが、世界では少なくありません。人々がお互いに理解することはなしには、争いが消えてなくなる日が来ることは決してないのだと思います。

私は、この作文を書いてみて、「自分らしさ」をしつかりと持つこと、そして「相手らしさ」をよく知ることの大切さに気付かされました。この二つを実現させることは決して難しいことではないと思います。世界から急に差別や争いをなくすことはできませんが、私たち一人一人がそれぞれの個性を尊重し、認め合うことによって、それらが生まれることを防ぐことや、少しずつ減らすことはできるのだと思います。